

2月11日(土・祝)

(建国記念日)

午後1時より開場

午後1時半より

時節柄、お食事を用意しておりません。*お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

大般若祈禱会

●厄払い ●所願成就 ●星まつり

【ご来場される皆様へ】

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。

お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
- ・ご来場の際はマスクを着用してください。
- ・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

新春福引大会は、新型コロナウイルス感染症のため、今年は開催を見送りたいします。来年は、皆様にお楽しみいただけるよう準備しております。

大乗院寺報 令和5年1月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第90号

道しるべ

宮の森 大乗院

令和五年
新年号



2月11日(土・祝) 大般若祈禱会のご案内

午後一時開場 午後一時半より

三蔵法師直伝の「大般若経」で

平和を願い、厄を払い、
所願成就を御祈禱します

孫悟空の「西遊記」で有名な三蔵法師が、十七年の歳月をかけ、インドから中国に持ち帰った六百巻からなる大経典です。その貴重な経文を転読(左右前後に振る事)し、平和な世界、人々の除災招福を御祈禱致します。またその風にあたると一年間は無病息災になると言われています。大般若の寿風に接してみましよう!

厄払い | 御祈禱料五千元

厄年とは運氣が下がりが災難に遭いやすい年です。大きな節目の年で身体の変化にも気を付けなければならないと云われ、仏天の御加護を頂き、厄災が降りかからないように御祈禱します。厄年早見表を御確認頂き「本厄・前厄・後厄」を御記入下さい。ご家族以外の方でも、遠方にお住いの方のお申込みも出来ます。

令和5年
「厄年」
早見表

※年齢は数え年、今年誕生日の年齢プラス一歳です

	前厄	本厄	後厄
男性・女性 61歳	昭 39 年生	昭 38 年生	昭 37 年生
男性 42歳	昭 58 年生	昭 57 年生	昭 56 年生
女性 37歳	昭 63 年生	昭 62 年生	昭 61 年生
女性 33歳	平 4 年生	平 3 年生	平 2 年生
男性 25歳	平 12 年生	平 11 年生	平 10 年生
女性 19歳	平 18 年生	平 17 年生	平 16 年生
幼児 4歳	令 3 年生	令 2 年生	平 31 令元

長寿祝い | 御祈禱料五千元

今年から
始め
ました

命の営みを神様に感謝し、年を重ねる喜びや家族や友人を大切に思う心を確認し合う節目の儀礼です。

所願成就 | 御祈禱料三千元

今年、特に願われることを御祈禱致します。同封の申込用紙の御祈禱項目よりお選び頂き、御記入下さい。併せて皆様には御家族全体の無事を祈る「家内安全」のお札もおすすめて致します。複数のお申込みも出来ますが、一祈願ごとの御祈禱料がかかります。

星まつり | 御祈禱料千円

個人の一年間の幸福と無事を祈り、災いから身心を守る御守りです。

御志納供養 | 祝い年

ご志納頂いた皆様の御名前を本堂に掲示し、読上げの先祖供養をお勧め致します。



【お申込み方法】

同封のお申込書に御祈禱項目(厄払い、所願成就、星まつり、ご志納)を御記入のうえ、ご供養料と一緒にお詣りに伺った時にお渡し下さい

ご郵送の場合

ご記入いただいた申込書を同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送いただき、ご祈禱料は振込用紙(郵便局)にて御納付下さい。☆当日ご参詣できなかった方には、後日おふだを御郵送致します。

令和5年(2023年)行事とお参り		
1月	1日(祝)	元朝祈禱会
2月	11日(祝)	大般若祈禱会
3月	11日(金)	大震災慰霊供養
3月	20日(日)	春彼岸中日法要
5月	第2・第3(日)	花まつり
7月	下旬	子ども坐禅会
8月	15日(月)	新盆万燈供養
8月	20日(土)	お盆大法要
9月	22日(木)	秋彼岸中日法要
10月	10日(祝)	両祖報恩会
12月	8日(木)	釋尊成道会
12月	31日(土)	除夜法会

令和5年(2023年)年忌表		
1周忌	令和	4年
3回忌	令和	3年
7回忌	平成	29年
13回忌	平成	23年
17回忌	平成	19年
23回忌	平成	13年
27回忌	平成	9年
33回忌	平成	3年
37回忌	昭和	62年
50回忌	昭和	49年
100回忌	大正	13年

長寿祝い早見表		
数え年		
還暦	60歳	1963年(昭和38年) ※週間は数え年でお祝い
古希	70歳	1954年(昭和29年)
喜寿	77歳	1947年(昭和22年)
傘寿	80歳	1944年(昭和19年)
米寿	88歳	1936年(昭和11年)
卒寿	90歳	1934年(昭和9年)
白寿	99歳	1925年(大正14年)
百寿	100歳	1924年(大正13年)
茶寿	108歳	1916年(大正5年)
皇寿	111歳	1913年(大正2年)
大寛寿	120歳	1903年(明治36年)

笑門来福

住職 田中清元

明

けましておめでとございます。長くコロナ感染症の影響を受けていましたが、ようやくもとの日常を取り戻せそうな希望を感じながら新春を迎える事が出来ました。社会に活気が戻り、経済や人の往来も確実に回復基調です。世界が熱狂したW杯サッカーと東京五輪を比較すると目瞭然ですね。明るい展望が見えて来たのでしょうか。一方で人類がコロナという共通の敵と戦っている中で、ロシアとウクライナとの争いが起こった事は本当に残念で悲しい事です。犠牲になつた多くの方々、深い悲しみや不安の中にある方々に、一日でも早く心からの笑顔が戻る事を祈りするばかりです。

人類の長い歴史の中で繰り返された過酷な試験。戦争や疫病、大災害などで人類は、どん底に墮ちても、這い上がり、進歩して来ました。ひとり一人の人生もまた山あり谷あり。令和五年は、世の中全体が新たな飛躍のスタートを切ったとも言えます。

その恩恵が人々に届くにはまだ少し時間がかかるでしょう。会社や家庭問題に悩み、病魔に苦しむ人々を想うと胸が痛くなります。

大切なのは、社会の転換期や世の中の変化に柔軟に対応すること。周囲が明るく元気になつていくのに、自分ひとりが青息吐息しているのは辛い。「艱難辛苦に、個人で何が出来るか」と思う人もあるでしょう。

地球上の全生物の中で、唯一人間だけが持つ特性。逆境を変え、人を元気に変える、自他ともに和やかになる最強の武器——それは「笑顔」です。

お寺だからできる安心の御供養があります。

終活、墓じまい、仏事のことなど何でもお問合せください。将来的な後継者問題や、残された御家族への負担もありません。

宮の森 大乗院 葉王寺
TEL:011-641-8904 FAX:011-631-0004
Email:yakuou@triton.ocn.ne.jp

護持会費納入について

令和4年度より、郵便局から現金でお振込み頂く場合、振込手数料が発生致します。こちらはお客様負担となってしまいますので予めご了承下さい。口座からの振り込みにつきましては従来通り手数料は発生致しません。お振込み頂く際はご注意ください。

辛抱する徳 編集後記

どんな人がいい人で、悪いひとか、美なるものと相まじわり、正ならざるものが存在し、我々、世の中が成り立っています。自分が正しいと思つても、何故に相手は、そう思わなかったのか、この何故、がとても大切だと感じています。だからこそ、お互いに辛抱ということが大切なのです。寛容の心を皆が持つことは、持てるように努力することが、一番幸せな時間を過ごす第一歩です。人を批判しないで、衝突と距離を置き、ある時は時間をかけ、そして感謝の気持ちを忘れない。そう簡単に出来ることではありませんが、毎日の暮らしを豊かに深めるために、「優しさ」を今度思い、辛抱と寛容の心を学んで、いきたいと感じています。今年も明るく、朗らかに、あいさつをかわしあう事を心がけて生きたいと思ひます。 院代 橋坂慎龍 合掌

笑いのある時には、ことが順調で幸福を感じ、笑いの無いのは、怒り、不機嫌な時。これは、ごく自然な感性の流れです。

だから、この幸福を呼ぶ「笑い」という人間の特性を武器にしてみたらどうでしょうか。逆境や不機嫌な時、自分自身をあえて意識的に「笑い」に置き換えるのです。にっこり笑つて見るのです。

失敗や困難に直面したら落ち込むのではなく、あえて大声で笑い飛ばしてみる。家庭や職場でいつも仏頂面なら、気味悪がられても意識的に笑顔で通してみる。「笑い」は心身共に活性化すると科学的にも証明済。必ず、自分も周囲も変わり、好機へと結びついていくのだと信じています。

そういえば「笑い」について、仏教では大きなお腹で知られる布袋大黒様の「呵々大笑」は、つとに有名です。大声で大笑いすると、小事や雑念を吹き飛ばし、心身共に元氣になれるという教えです。

お釈迦様と弟子との「拈華微笑」もあります。お釈迦様の難しいお話に誰もが仏頂面の時、「弟子が「ニコッ」と微笑んだことに、仏教の極意を授けた」という逸話。まさに「笑い」は力なのです。

笑門来福。文字通り笑う門には福来る。今年が、笑顔に包まれ、飛躍と健康に満ちることを心からお祈りします。

令和五年 元旦 合掌



お寺のできごと

9月23日 秋彼岸法要

「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」国民の祝日である秋分の日、旧本堂と新本堂で秋彼岸法要を行いました。昼夜の長さが同じになる秋分の日を中心に前後3日間を合わせた7日間は布施・施すこと、持戒・戒めを守ること、精進（努力すること）、禪定（心落ち着けること）、知恵（真理に基づく考え方や生き方をする）の6つの徳（六波羅蜜）を毎日積み、仏教の教えを実践する週間でもあります。御先祖様を偲び、自分が今あることに感謝して、感謝の報恩を致しました。



当山二世惇風孝印大和尚 十三回忌法要



13時30分より、先代御住職「当山二世惇風孝印大和尚称名忌(十三回忌法要)」の御導師を中央寺御住職熊谷忠興大方丈様のもとに執り行いました。

開山様への感謝と供養の言葉を述べ、厳粛厳かなる宗門最大の敬意を表する出班焼香の儀式が行われます。

続いて観音寺御住職金丸孝道老師御導師のもと御参詣者様全員でのお焼香となりました。

ご塔婆・ご志納頂いた方の読み上げを、当山田中清元御住職と田中基裕副住職が丁寧にご供養致しました。

10月10日 永代供養納骨法要

新型コロナウイルスによって中止が続いておりましたが、本年お陰様を持ちまして永代供養納骨法要を執り行うことが出来ました。秋の急な天候により、新本堂内でのお勤めとなりましたが、当山副住職・導師のもと、納骨された皆様のお名前を一人一人丁寧に読み上げられました。納骨をする大切さ、そして相手を本心に想う事についてご法話を頂きました。



10月23日

秋晴れの中、年内最後の大法要を行いました。コロナ禍の中、感染予防対策を行いながら、多くの皆様に御参拝いただきました。心より御礼申し上げます。



◎開拓殉難者慰霊供養

二〇一八年に百五十年を迎えた北海道開拓の歴史の中で礎となり、尊い命を犠牲にされたアイヌ先住者、韓国朝鮮や中国出身者の方々の慰霊供養。宮の森大乘院境内地に「北海道無名開拓殉難者慰霊之碑」を建立し、いまもなお韓国や中国の寺院と親善交流を深め、慰霊を続けております。今の北海道の繁栄は先人たちの苦労の上に成り立っていることを改めて認識し慰霊供養を勤修致しました。

12月8日



成道会

お釈迦様お悟りの日 御釈迦様が菩提樹の下でお悟りを開かれた事をお祝いする法要です。本年は山内で執り行いました。

月寒忠霊塔



盟友前田伏樹会長が突然の訃報の中でしたが、札幌の若手神職文月会の皆様が引き続き合同供養を行って下さいました。塔内に眠る四千柱の戦没者の御霊のために慰霊供養を行いました。

◎両祖忌



10月

◎「眞應山拓恩寺」晋山結制式

10月29日に南米パラグアイ初の仏教寺院「眞應山拓恩寺」において、毎年お盆のお手伝いに来て下さっているブルーノ正栄老師を正式に第四世新任住職とする晋山結制が行われました。東京成田から38時間。現地の雨予報を覆す晴天に見舞われ、開拓先亡者諸精霊に感謝の供養も行われました。また、11月11日には拓恩寺先代御住職島崎允法老師の3回忌を新本堂にて執り行いました。田中清元御住職から島崎允法老師、そしてブルーノ正栄老師へと、南米パラグアイという地球の反対側の地で仏教の教えの種が蒔かれ、大輪の花を咲かせる。数々の御縁が巡り、今の私たちを生み出してくれております。



今年もさまざまな活動を行い、多くの皆様にご協力いただきました。

寄贈頂き有難う御座います!

お地蔵様頭巾
西区五十嵐まさ江様
北區菅野勝美様

車椅子
西区白井正夫様

坐禅会

体と心を
調えましょう!

毎月1日・15日
午前7時より参加無料

忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

スキー少年団

心と頭と感性を
磨きましょう

お寺では、住職の長女・亜実さんが指導するアルペンスキー少年団の指導も行って、心と身体と感性と一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

空手教室

心と体を
鍛えましょう

毎週月・木・土曜日
午後6時よりお寺

共に心と体を鍛え「自自力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。幼稚園のお子様から始められます。

ご詠歌

仲良く楽しく
唱えましょう

毎週金曜日
午後1時より 会費あり

ご詠歌を聞かれた事はありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

ヨガ

心と体と
向き合しましょう

呼吸とポーズを組み合わせるヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があると言われています。